

キツツキの仲間（キツツキ科）で、高原でよく見かけるのは、アカゲラ、アオゲラ、コゲラの3種類です。一番よく見るのは「アカゲラ」です。腹の下部が真っ赤なので、簡単に見分けがつかます。アカゲラは家の壁に穴をあける厄介者で、「コラ！」と追い払うと、飛びながら「ケッ、ケッ、ケッ！」と人を馬鹿にしたような声をあげて去っていきます。北軽井沢ではアオゲラとコゲラはずっと数が少なく、見かけることも少ないです。先日、そのアオゲラがカメラの視野に入ってきました。

新型のネットワークカメラでは、遠隔操作でも望遠で野鳥の姿も鮮明にとらえられます。野鳥は動きが速いのですが、設定によっては「自動追尾」も可能です。アオゲラは全身が青いわけではなく、風切羽と尾羽がうぐいす色をしているためにその名があります。このカメラでは、ほかにもさまざまな野鳥や動物をとらえていますので、今後も紹介したいと思います。

(2024年5月上旬／北軽井沢／遠隔撮影)

